



「仏花を五百円ください」と中年の奥様。

「桜草の鉢とがすみ草をください」と若いお嬢様。

「赤いバラを二、三本、花束にして」と年頃の男性。

それぞれの用途で、それぞれの花がお客へ渡って

いきます。中年の奥様は、

きつと先祖を大切に思っている

んでしよう。若いお嬢様は、ご自分の部屋を美しく飾られるのでしよう。年頃の男性は、どなたにプレゼントするのかな」などと勝手な想像をして、

「花屋商売」も乙なものですね。時折、花の値段の相場を知らないお客様もご来店されます。「高い」と怒られてみたり、「安いからこの花も一緒に」と買われたり、また、年と同じ値段と

思っている方もおられます。

ある日の店頭風景

本町三川名一弘

どの商店でも同じでしょうが、お客様はいろいろです。でも、お客様には変わりありません。大事、大事です。花は必需品ではないので、余裕のある方でなければ買えません。お客様は、心にも財布にもゆとりのある方なんだなあ——と、ちよつぱりうらやましいこともあります。

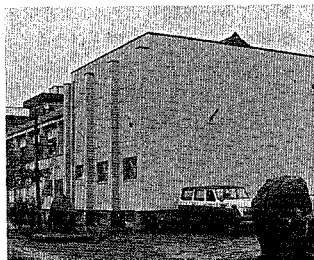
「贈り物に花を」という方も最近では増えてきており、ありがたく思っています。突然の電話で、〇〇家の御不幸の知らせ。「あの優しい、美しい方への御供花とこのこと。お好

きだったお花を心をこめて作りましょう」でも、うれし

いこともあります。〇〇日に結婚します。花束を、と、顔見知りの方のご来店。「あの方とゴールデンですか。お幸せに！」とついこ

ちらの心もはずみます。いろいろな方との心のふれあい、花店の一日が過ぎていきます。ある日の店頭風景でした。

このバトンを秋葉一丁目の山名綾さんにつなぎます。



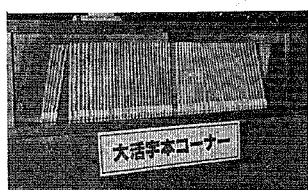
二中体育館増床工事が完成

生徒数の増加で手狭になった二中体育館の増床工事が、このほど完成しました。ステージを新しく造り変えるなどして、これまでより 240㎡ほど広くなりました。総工事費は、約4,500万円でした。

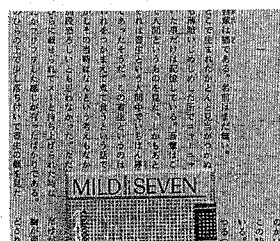
図書館に大活字本 大きい活字で 楽に読めます

「本を読みたいが、どうも字が小さくて」という方に朗報です。図書館に、一月五日から「大活字本コーナー」が設置されます。

この「大活字本」は、弱視の方やお年寄りの方のためにつくられたもので、活字の大き



大きな活字の本が約70冊備えられました



読みやすい大きな活字です

お買物、ご用命は市内で

胃腸・皮膚・肛門(ち)・泌尿・X線

謹賀新年

山田外科医院

心身の健康は居合道で。指導いたします